

---

## 1 目指す学校 <学校標語> 夢と志をもって・・・

---

### 《スクールミッション》

「夢と志をもって…」を学校標語に、自分らしい生き方を判断・実行できる力を育成し「未来の産業人」を育成します。自分の可能性を信じ夢をもち続ける生徒、専門性を生かし社会に不可欠な得意技を身に付ける生徒、志をもって学業に取り組み社会に貢献しようとする生徒、相手を敬う心を持つ生徒を育成します。

### 《スクール・ポリシー》

#### 1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- (1) 自分の将来像を描き、志をもって学業に取り組み、進路を実現する力の育成
- (2) 社会生活の様々な場面で、自分の考えを的確に表現し、意見を交わしつつ、他者と適切な合意形成を図ることができる豊かな表現力やコミュニケーション能力の獲得
- (3) 社会的に価値の高い資格・検定等技能向上に挑戦し、深い学びと専門性、得意技を伸ばし続ける産業人材の育成
- (4) 思いやり、公共心、倫理観、基本的マナーなど身につけ、利他的に考えることができる情操の育成

#### 2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- (1) 「分かる」だけでなく「何ができるようになるか」を目標とした、学ぶ意欲を引き出し、高い学力を組織的・計画的に育成する授業を工夫し実践する。
- (2) 各分野の専門性を体系的に深めるとともに、分野相互の知識・技術を学ぶことで「ものづくりから流通まで」を一貫して学ぶことのできる教育課程を編成する。
- (3) 産業科の専門性を持ちながら、大学等への進学後に対応できる普通科の授業数を確保する。
- (4) 大学等及び地域・企業等専門家との連携を推進し、現代における産業界の潮流をとらえる機会を設け、地域とともに生きる学校を目指す。
- (5) 人権尊重の精神を基調とし、奉仕体験活動等に参加をすることで、社会貢献活動に取り組む。

#### 3 アドミッション・ポリシー（入学者受け入れに関する方針）

- (1) チャレンジ精神をもち、資格取得・大学進学など進路実現に積極的に取り組む生徒
- (2) 志をもって、部活動、生徒会活動、ボランティア活動などに取り組み、社会に貢献する意欲をもつ生徒
- (3) 相手を思いやる心、敬う心をもって、共に生きることのできる生徒
- (4) 自分の可能性を信じ、目的意識をもって勉強・学校行事に意欲的に取り組む生徒

本校では高い専門性を持つ教職員が恵まれた施設設備を活用しながら、生徒が「分かる」「できる」喜びを味わうことができる環境を提供します。

そして、課題に立ち向かう意欲と力を育み、『課題解決力』を育成します。さらに特技・得意技を活かして目標に向かって学び続ける体験の中で『「学び方」を「学ぶ」教育』を実践します。

さらに、世界的な経済活動の広がりの中で、複眼的に考える力と専門性を身に付け、社会の各界において活躍する人材を育て、広く社会から信頼される学校を目指します。

### 《スクールミッションを達成するための教師像》

- 1 教育者としての自覚と責任感に溢れ、本気で褒め、本気で叱る教師
- 2 人生を語り、「生きる」ことの魅力を伝え、生徒の自立を促し自尊感情を育む教師
- 3 常に組織的計画的に実践し、体罰とは無縁でありながら厳しく生徒を鍛えることのできる教師

## 2 中期的な教育活動の目標と方策

本校の教育の基本方針 【千の夢計画】（4つの柱）	目標	方策
<p>『第一の柱』 生涯をつらぬくキャリアをデザインする。</p> <p>『第二の柱』 誰にも負けない得意技を身に付ける。</p> <p>『第三の柱』 進路第一希望を実現する学力と教養を身に付ける。</p> <p>『第四の柱』 世の中の役に立つ人間になる。</p>	(1) 生徒の課題解決力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自ら考え課題を発見し解決に取り組む授業スタイルを推進する。</li> </ul>
	(2) 生徒の学ぶ意欲を引き出し、夢を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを実際に生かす場面を数多く設定する。</li> <li>・進路指導部主導で組織的・計画的なキャリア教育を実施し、目標の早期設定や高い志の維持等を図り、生徒の夢の実現を支援する。</li> </ul>
	(3) 専門性を育み、得意技を身に付けさせる。 (学力と専門性・特色ある教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識・技能の習得と、専門的学習を両立する教育課程を編成し、高度な専門性を身に付けさせる。</li> <li>・地域の産業界や各種学校等と連携し、ものづくりから流通までを総合的に学習する。</li> </ul>
	(4) 世の中の役に立ち、社会と共に生きる生徒を育てる。 (生徒指導・社会貢献)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の分野の生徒と協働して課題解決を図る教育プログラムを実践し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>・全ての教育活動で、全教員が一丸となり、生徒に規範意識・社会性を身に付けさせる。</li> </ul>
	(5) 健康的で清潔な学校生活環境を保障する。 (保健・厚生・環境)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的に、きめ細かな心身の健康管理と保健衛生指導に取り組む。</li> <li>・定期的に美化・清掃活動に取り組み、清潔で快適な学校環境を維持する。</li> <li>・特別支援教育に関する委員会を中心に実態把握を図るとともに、課題に対応する。</li> </ul>
	(6) 地域と共に生きる学校を創る。 (連携)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学連携、高大連携、小中高連携、施設開放や公開講座などの地域連携を推進する。</li> <li>・積極的な広報活動を展開し情報を常に発信し、全校体制で募集対策活動を実施する。</li> <li>・地域や関係機関と連携した防災教育を実践し、自助・共助の精神を養う。</li> </ul>
	(7) 改善し続ける学校組織となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、産業界や教育機関等による学校改善への提言の場を設定し活用する。</li> <li>・学校や授業を評価する活動等を継続実施し、研究・実践・評価・検証のシステムを構築する。</li> </ul>
	(8) 施設設備・予算の適正な計画と運用を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の重点配備と分野間連携による適正かつ効率的運用を図る。</li> <li>・長期的な視野に立った施設・設備の整備と維持のためのシステムを工夫する。</li> </ul>

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 教育活動の目標と方策

##### <学習指導>

##### 目標① 産業科として特色のある教育課程を編成・実施する

- ア 基礎的・基本的な学力と専門性を身に付けさせるとともに、それらを活用する柔軟な発想力を育成するための教育課程を編成・実施する。
- イ 地域の産業界等と連携し、「ものづくりから流通まで」を総合的に考えられる人材の育成を図るため、積極的に外部人材を活用する。

##### 目標② 課題解決力育成プログラムを構築する

- ア 課題研究等の授業で、課題解決への道筋を体験させ、成果発表会を開催する。
- イ 自らの専門性を生かし、他者と協働して課題を解決する授業を実施する。

##### 目標③ 学ぶ意欲を引き出し、夢を育てる

- ア 生徒が将来を見据え、自らの学びを企画し実践することで、「学び方」を「学ぶ」教育を確立する。
- イ ICT機器を活用し、生徒の実態に合わせた課題を提供することで、生徒の自宅学習をはじめとした学習習慣の定着を図る。
- ウ デジタル技術や情報・教育データの利活用を行い、総合的な学校教育力の向上を目指す。
- エ 「わかる授業」の実施に向け、相互授業見学、指導教諭の実践活用等に取り組む。

##### 目標④ 専門性を育み、得意技を身に付けさせる

- ア 資格や検定取得に向け、生徒の取組を積極的に支援する。
- イ 大学・産学連携を進めるとともに、分野間の連携により、「ものづくりから流通まで」を総合的に学習する機会を構築する。
- ウ 海外姉妹校交流、専門高校生徒の海外派遣研修の参加を通じて、国際感覚を備えた人材を育成する。

##### 目標⑤ 考えつづける力を育成する

- ア 言語活動を充実させ、文章を理解し考えを表現する指導に取り組む。
- イ 知的財産教育を推進し、創造性やアイデアを大切にせる教育に取り組む。

##### 目標⑥ 教科会の活性化を図り、学力の定着と目的の共有を実現する

- ア 教科会等を活用し、本校生徒の実態に即した統一的指導と評価方法について教員間で共有するとともに、HP等に情報を掲載し生徒・保護者との共有を図る。

##### 目標⑦ 社会貢献、地域連携の取組を教育課程上でも工夫する

- ア 日頃の学習と、地域の行事やインターンシップへの参加を関連付け、社会貢献や地域連携を維持発展させる。

##### <生活指導・学級経営等>

##### 目標⑧ 社会と共に生きる生徒を育てる

- ア 指導の統一を図り、教職員全員で毅然とした規律指導を実践する。特に、服装・時間厳守等の生活規律確立のため、あらゆる教育活動を通じた指導を徹底する。
- イ 規範やTPOに応じたマナーを確実に身に付け、社会において即戦力として役立つ人間を育成する観点から厳格な生活指導を行う。
- ウ 適切な挨拶と相手に応じたコミュニケーション力を養う。特に、SNS等利用に関するマナーやルールを厳守させる指導を徹底する。
- エ 部活動・委員会活動を発展させ、社会地域と連携し、活力ある学校づくりを推進する。
- オ 地域・関係機関と連携した防災教育の実施計画を策定し、自助・共助の精神を養う。
- カ 学校いじめ対策委員会を中心に学校全体でいじめ防止・早期発見・相談体制整備に取り

組む。

キ 体罰・不適切な指導等の服務上の課題とは無縁な教育を行う。

### <進路指導・学級経営等>

#### 目標⑨ 夢を育て、進路希望を実現させる

- ア 入学から卒業までのロードマップ及び3年間を見通した進路指導計画を進路指導部が作成し、学年・分野との綿密な連携のもと統一性のある進路指導をさらに充実させ、生徒の夢を育み、夢の実現を支援する。
- イ キャリアデザイン、産業科科目を中心に、高大連携・産学連携・地域連携を推進する。また、外部人材を積極的に活用し、系統的・継続的なキャリア教育を支援する。
- エ 最新の進路関連情報を提供し、オープンで迅速に対応する体制を確立する。
- オ インターンシップなど地域社会との連携を工夫し、現実の社会から学ぶ計画を企画実施する。

#### 目標⑩ 生徒理解・保護者理解の一層の深化に努める

- ア 定期的に生徒との面談を実施し、生徒理解を深める。
- イ 必要に応じて保護者との面談を実施し、生徒の状況や育成の方向性を共有する。
- ウ 教職員の生徒や保護者への理解をさらに深めるため、拡大学年会等を計画的に実施し、情報を共有する。
- エ 3年間を計画的に見通した保護者会・クラス懇談等を実施し、学校の教育方針や生徒の状況を発信し、保護者との綿密な連携を図る。

### <保健・美化・健康づくり>

#### 目標⑪ 「TOKYO ACTIVE PLAN for students」（令和4年3月東京都教育委員会）及び「総合的な子供の基礎体力向上方策」（第4次推進計画）による、生徒の体力向上及び健康の保持増進に努める。

- ア 日常の清掃指導と定期的な全校一斉清掃を徹底し、校内を清潔に保つ。
- イ 委員会活動などをおして生徒の環境への意識向上を図り、環境教育を推進する。
- ウ 講習会・講演会等を実施するとともに、きめ細かな健康管理と保健衛生指導に取り組む。
- エ 特別支援教育に関する委員会を中心に実態把握を図るとともに、関係機関と連携し課題に速やかに対応する。
- オ スクールカウンセラーとの連携を強化し、「SOSの出し方に関する教育」を推進することで、自殺予防と生徒の健全育成を図る。
- カ 特別な支援を必要とする生徒の情報共有を徹底し、校内研修を進めるとともに教育相談センター・特別支援学校等の外部機関と連携を図る。

### <図書・視聴覚・ICT教育>

#### 目標⑫ 読書指導・ICT教育を推進する

- ア 授業での図書館利用促進、読書の時間、ビブリオバトル等の取組により、読書に親しむ態度を育成する。
- イ ICT機器の利用を促進し、積極的に活用することで、生徒の学力の向上に取り組む。視聴覚教材やデジタルコンテンツの開発・蓄積・共有を図り、一人1台端末の有効活用に向けた環境をさらに整備する。

### <特別活動・その他>

#### 目標⑬ 集団での学びを体験させ社会性を育成する

- ア 学校行事・部活動を自主的に運営させ、集団活動をおして社会性やリーダーシップとともにコミュニケーション能力を育む。
- エ 分野を横断した集団での活動の場を設定し、産業科ならではの豊かな人間関係を育む。
- イ 教育活動全体をおして、知徳体のバランスのとれた人材を育成する。
- オ 主権者教育を適切に実践し、生徒の主権者意識の醸成を図る。

## 目標⑭ 世の中の役に立ち、地域に貢献する

- ア ボランティア活動や「奉仕」「人間と社会」の活動計画を工夫し、学んだことを活用して世の中の役に立つ体験をさせる。
- イ 地域社会との強い結びつきを維持発展させ、連携事業を実施し地域の発展に貢献する。  
(ビートレインズ、いちょう祭り、八王子市、千人町三四丁目町会、第五小学校、横山中など)
- ウ 「東京グローバル人材育成指針」(令和4年3月東京都教育委員会)に基づく国際理解教育の推進及びグローバル人材を意図的に育成する。

## <学校運営関連>

### 目標⑮ 「学校における働き方改革推進プラン」に基づく教職員のライフ・ワーク・バランスの取組及び「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」(令和6年3月東京都教育委員会)に基づく働き方改革を推進する。

- ア 教育活動・進路指導などの成果を見える化し、学校全体で情報を共有できる体制を作る。
- イ 学校評価、授業評価などのアンケートを活かし、成果と課題・新たな目標を明確化し、協働意欲をもって改善しつづける組織となる。
- ウ 経営参画ガイドラインに基づき、経営企画室の積極的な経営参画を推進する。
- エ 入学した生徒の学習状況等の検証・検討に基づき、入学者選抜の課題を把握し、適切な改善と準備を行い、的確な入学者選抜業務を実施する。
- オ 業務の効率化を徹底し、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を図る。
- カ 日頃から個人情報保護等を徹底するとともに、効果的な防止研修を行い、ミスを事故にしない組織的な業務運営を行い、サービス事故を未然に防止する。
- キ 外部機関と連携し、製品やサービスを学ぶ研修を実施し、授業に活用する。
- ク 企業・工場等の視察、職場体験、講演会等を実施し、企業と連携したアントレプレナーシップ教育を推進する。

### 目標⑯ 開かれた学校をつくる

- ア HPの適宜更新や、学校案内等広報媒体の改善により、効果的に情報を提供する。
- イ 卒業制作展などを実施し、本校の教育活動の成果を地域に広く還元する。
- ウ 中学生を対象とした体験教室、学校公開、学校見学・説明会、出前授業等を全校体制で実施する。
- エ 小・中学校や地域等と連携し、本校への潜在的入学希望者を確保する活動を展開する。

### 目標⑰ 教育活動を補完する効率的な施設利用

- ア 限りある教育施設を適切に維持管理し、学校として有効で効率的な利用を工夫する。
- イ 作品展示コーナーを工夫するなど、学校施設や設備等を効果的に活用する。

### 目標⑱ 地域・保護者と共に生きる学校をつくる

- ア パートナーシップ協議会との連携を強化し教育活動の改善に取り組む。
- イ PTA活動との連携により保護者の信頼を獲得し、学校・保護者・地域の三者で育てる環境をつくる。
- ウ 本校の特徴を活かした公開講座の実施や学校開放事業に取り組む。
- エ 学校行事や保護者会の開催方法等を見直し、保護者が参加しやすい状況を工夫する。

## (2) 今年度の重点目標と方策(含む数値目標)

### ※ 今年度の最重要課題は次の4点

- 1 産業科としてのより一層の基盤確立
- 2 募集対策活動の更なる充実
- 3 学力・スキル・体力・規範意識向上
- 4 資格取得と進路実現

#### ① 学校組織目標達成と活性化への取組

- ア パートナーシップ協議会を年3回以上、そのうち少なくとも1回は協議委員による授業見学を実施し、組織目標達成に向けた取組を公開する。

**【R05:協議会を年3回、そのうち1回は授業見学を併せて実施】**

- イ 諸課題の解決に向け、校内研修会を各学期3回以上実施する。

## **【R05：1学期4回、2学期3回実施】**

### ② 学習活動活性化への取組

ア 教科の目標を明確に設定し、到達度テストをオンライン化、学力分析会を実施することで、組織的・計画的な学力向上と授業改善に取り組む。

**【R05：学期ごとに実力診断テスト、分析会を実施】**

イ 年2回以上、教員の相互授業見学を計画的に実施するなどOJTを推進し、授業力向上を図る。

**【R05：1・2学期ともに授業見学期間を設定し実施】**

ウ 学校評価アンケートでの授業理解度「理解できる」の肯定的回答90%以上を目指す。

**【R05：90.0%】**

エ 適切な課題を生徒に継続的に与えるなどの具体的方策を実施して、1学年、2学年生徒に毎日1時間以上の家庭学習（オンラインを活用した課題の配信含む。）を実施している生徒90%以上を目指す。（課題制作・授業時間外の校内その他での学習を含む。）

**【R05：87.6%】**

オ 全ての教科でオンライン学習等を実施するなど、災害等でも学びを継続できる体制づくりに取り組む。

**【R05 新設】**

### ③ 進路希望実現への取組

ア 各学年とも年3回の面談、内1回は保護者面談または三者面談を実施する。

**【R05：全学年実施済み 保護者面談・三者面談は主に長期休業中に実施】**

イ 現役進路決定率98%以上を目指す。

**【R05：97.4%】**

ウ 進路指導満足度95%以上を目指す。

**【R05：肯定的回答96.2%】**

### ④ 生活指導・特別活動への取組

ア 遅刻生徒への指導体制を工夫し、遅刻年間10回以上の生徒20%以下を目指す。

**【R05：29.1%（1年14.6% 2年26.3% 3年47.2%）】**

イ 年間皆勤者30%以上を目指す。

**【R05：14.7%（1年23.8% 2年10.9% 3年9.5%）】**

ウ 桑高祭への来場総数3000名以上、保護者来校者（家族も含む）数1000名以上を目指す。

**【R05：一般公開2487名 保護者：1102名】**

エ 他者と協力して自立的に行動する能力や社会性を養う等の部活動の教育的意義を生徒に周知し、部活動加入率85%以上を目指す。

**【R05：77.5%】**

オ 服装頭髪等で指導を受けた生徒の改善率100%を目指す。

**【R05：99.8%】**

### ⑤ 保健・美化・食育健康教育への取組

ア 学校評価アンケートでの校内美化等に対する肯定的回答90%以上を目指す。

**【R05：肯定的回答88.4%】**

イ 食育活動に取り組み、朝食取得率90%以上を目指す。

**【R05：取得率89.0%】**

### ⑥ 学校改善と本校ブランド確立への取組

ア 学校評価アンケートでの学校満足度「学校生活は楽しい」の肯定的回答95%以上を目指す。

**【R05：肯定的回答96.1%】**

イ 保護者会等の開催を工夫し、保護者の参加率50%以上を目指す。

**【R05：1学期：土曜日60.0% 2学期：土曜・授業公開55.0%】**

ウ 学校PR活動（HP・説明会等）に積極的に取り組み、肯定的回答90%以上を目指す。

**【R06：新設】**

エ 中学生・保護者・地域の期待を引き続き獲得し、中進対（東京都中学校長会進路対策委員会）における本校への入学希望倍率（中進対倍率）1倍超を目指す。

**【R05：1.09倍（デザイン1.21 クラフト0.97 システム情報1.63 ビジネス情報0.74）】**